

読むこと①

第1学年

論説文を再構成し、本文の要旨をつかもう

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

文章の構成や段落相互の関係を考えて読めていないために要旨がつかめない。

②③①の順序で並べるといいんじゃないの？
順序なんて関係ある？
小学校の時にやったことあるけど、あまり覚えてないなあ。



出典「自分だけの宝物」

③ 他人から見たら紙切れだけど、僕にとっては大切なもの。

② 賞状はうれしさを思い出させてくれる。

① 一つの賞状アルバム

問 次の文章を段落の内容を考え、並べなさい。

実践の概要

単元名 わかりやすく伝える

『ペンギンの防寒具』三省堂

目標 段落相互の関係を考えながら読むこと。

- 内容
- ・「本論」→「結論」→「序論」の順序に本文を提示し、本文を再構成する。
 - ・順序の根拠をグループで交流させ、1つの仮説を立てる。
 - ・本来の本文の順序を提示し、筆者の考えをグループで推論する。
 - ・学習した説明文の形式を使って作文を書く。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容（単元名）		つまずきの実態
第3学年	学びの扉をひらく	書き手のものの見方や考え方を伝えるための、論理の展開の意図を読み取ることができない。
第2学年	分析的に考える	叙述の順序が書き手の考えにどのような説得力をもたらしているのかを考えながら読むことができない。
第1学年	わかりやすく伝える	文章の構成や段落相互の関係を考えながら読めていないために要旨がつかめない。

単元末の目指す姿

- ・順序の根拠をグループで交流し、仮説を立てていく中で、キーワードに注目することや、段落相互の関係を考えられるようになる。
- ・習った形式で作文を書かせることにより、筆者の意図に近付き論説文の構成を学び、読解力を身に付ける。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

★主体的な学びにつながる実践

段落の順序を変えた文章を提示し、正しい順序の根拠を考え、グループで交流させる。

活動のねらい▶ キーワードや、段落相互の関係を手立てに構成を考える。

ここがポイント

本文の順序の根拠をグループで交流し、正しい順序について仮説を考えさせることにより、段落相互の関係を深く読み取ろうとする態度が身に付く。また、相互の関係を読み取るときに、キーワードを根拠として仮説を立てていくので、論理的な読みに近づく。

構成順序についての検討



この文が、筆者の一番言いたいことのはず。ということは、ここが結論じゃないかな。

本論でも、この段落は話の展開をしている内容になるな。

順序を表す言葉を手がかりにするとわかりやすいぞ。

(期待される生徒の姿)

- グループで考えを比較したりまとめたりすることを通して、根拠が整理される。
- 自分達で構成の配列を考えた後に本文の学習を行うことで、課題解決に向けた見通しをもつことができ、主体的な学びにつながる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

習った説明文の形式を使って作文を書かせる。

活動のねらい▶ 筆者のものの見方やとらえ方の追体験を通して、論理的な文章の構成を理解し、読解力を高める。

ここがポイント

筆者の論理の展開を模倣して生活作文を書かせることにより、筆者の工夫、ものの見方やとらえ方を知ることにつながる。そうして追体験させていくことで、筆者の意図に気付き、読解力を高めることができる。

説明文の形式を活用した作文メモ

【作文メモ】
題名「山登りの達成感」
序論 うれしさのしくみ
本論1 仲間との絆
本論2 自分に対する自信
本論3 頂上の景色
結論
• 仲間との絆
• 自信
• 壮大な景色
を味わうことによって達成感を感じている。

(期待される生徒の姿)

筆者の論理の展開を模倣することにより、段落ごとの内容や段落相互の関係をより深く考えられるようになる。